

7-1

言えたらあげる



活動

どうし 動詞の「ます形」を見て「た形」を
い言う。

かたち



時間

せつめい編

活-02 Vた形

談話の技術

準備するもの

よう かみ がくしゅうしゃ かず
カード用の紙 (学習者の数 × 10)

使うことば

の い はな み
(飲む) (行く) (話す) (見る) (ある)
た およ かえ
(食べる) (いる) (泳ぐ) (帰る)
く よ つく か
(来る) (する) (読む) (作る) (買う)
き お ね あ
(聞く) (起きる) (寝る) (開ける)
たつ すわる つか か
(たつ) (すわる) (使う) (書く)
と し あ の
(取る) (閉める) (浴びる) 乗る、
お で はい ある ま
降りる、出る、入る、歩く、曲がる、
わたる、登る、着く、通る

手 順

1. 学習者にカード用の紙を一人10枚ずつ
くば 配る。
2. 学習者は2つのグループ(A、B)に分か
れる。教師は、黒板にそれぞれのグルー
プのために違う動詞の「ます形」を10ず
つ書く。
3. 学習者は、10枚のカードの表に自分のグ
ループの動詞の「ます形」を書く。
うら にはその「た形」を書く。書いた後で、
クラス全体でチェックし、間違いがあっ
たら直す。
4. Aの学習者とBの学習者でペアを作る。
5. 交互にカードの「ます形」を見せ、「た形」
を言わせる。相手が正しく言えたらカー
ドをわたす。言えなかったら正しい形を
教えて、持ち主がそのまま持っている。
6. 最後にカードの枚数が多い方が勝ち。

バリエーション

- (1) グループAとBで、カードを交換し
てもう一度やる。
- (2) カードに動詞の「ます形」と「た形」
を書く代わりに、母語訳と「た形」を
書く。
- (3) カードの枚数を増やしたり減らした
りする。

先生へ

- ・カードを作るのを宿題にすると、時間が節約できる。
- ・練習する動詞は、それまでに学習した動詞から選ぶ方法と、ブロック7の移動の動詞も含めて選ぶ方法がある。移動の動詞を入れる場合は、練習の前に意味や活用のグループを教える。